

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和7年6月20日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

素敵な六中生 ～主体的な行動に感心～

天気が回復した今週は、用務の前田先生と協力してプランターに花の苗を植えたり、グラウンド整備をしたりしました。そのような中、「校長先生手伝います!」「何かお手伝いできることはありますか?」と朝や昼休みに自然に声をかけてくれる六中生がいました。プランターを運んでくれたり、水やりしたリール式のホースを巻いてくれたり、小さなことかもしれませんが、その気持ちがとても嬉しかったです。

19日(木)の朝は生徒会の呼びかけで朝のボランティアがありました。1年生から3年生まで50名以上の六中生が参加し、草取りをしてくれました。その日は7時過ぎに出勤したのですが、すでに草取りをしている生徒もいました。学校のために、みんなのために行動することができる六中生に感心しました。

軽トラックを借りてきてグラウンド整備をしている最中にも「校長先生ありがとうございます!」と何人もの生徒がお礼を言ってくれました。中には放課後に校長室まで来て感謝の意を伝えてくれる生徒もいました。主体的に行動することができ、感謝の心を伝えてくれる素敵な六中生がますます好きになりました。



二つのお願い ～準備、応援されるチーム・選手に～

今週末から空手道、来週は野球・ソフトテニス・バレーボール・卓球の中体連大会が行われます。先週は体育館で激励会を行い、各部キャプテンのあいさつや生徒代表大門さんの激励のことば、そして卓球部西田さんから選手宣誓が行われました。(PTAからはお守りもいただきました)体育委員会が進行を務め、温かい雰囲気の中、とてもいい式になりました。

私からは二つのお願いをしました。一つ目は「準備」。大会当日にベストを尽くせるようにしっかりと「準備」をしておくこと。大会までの練習はもちろん、当日の朝まで、試合や競技が始まる直前まで、自分にできることをしっかりとやり、最高のパフォーマンスが発揮できる「準備」をすること。睡眠、食事、体のケア、道具の手入れ、心の整理、一つ一つ丁寧に準備をして大会に臨んでほしいと思います。

もう一つは、「応援されるチーム、応援される選手になる」こと。あいさつをはじめとする会場での振る舞いや周囲への配慮、審判の方々や保護者の方々への感謝の気持ちを表現すること。これらが雰囲気を作り、自然とサポートしてもらえることにつながります。その力が自分たちに返ってきます。いわゆる勝利の女神をひきよせることにもつながります。

この二つはスポーツだけに限りません。7月に行われる吹奏楽のコンクールや高校入試など、これから迎える大事な取組全てに言えることです。何かに向けて日々準備をし、周囲から応援される人になっていって欲しいと願います。このことは自分の夢を叶え、目標を達成することにもつながります。

繋がる「あいさつ」～相手を認め、敬意を示す～

「六中生はよくあいさつをしてくれます。」地域の方々や小学校の校長先生からもこの言葉をお聞きすることがあります。私からはいつも見守っていただき「ありがとうございます。」と返しています。最近朝の登校時に限らず、廊下ですれ違う時もさわやかなあいさつが増えてきたなと感じています。

あいさつはその場にいる人を認め、敬意を示すという大切な意味があります。目を見て、立ち止まり、笑顔で丁寧なあいさつをすることで相手も「認めてもらった」「自分を大切にしてくれている」と感じます。その積み重ねが信頼関係を築いていきます。

今年度の学校教育目標の中に「仲間と繋がり」という内容があります。その出発点は「あいさつ」です。六中生のあいさつのレベルがもっともっと上がり、みなさんが仲間と繋がっていっていくことを期待しています。「明るく、何時でも、先に、続ける」あいさつを!



あ・・・あかるく
い・・・いつでも
さ・・・さきに
つ・・・つづける